

生きづらさの先に咲く花 VOI.2

テーマ：『発達障害という傾向』

2016年 **6月5日** (日) 13:00～15:30 (開場12:30)

◆会場 **太田市福祉会館** 大会議室(2階)
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549(東毛学習センター隣)

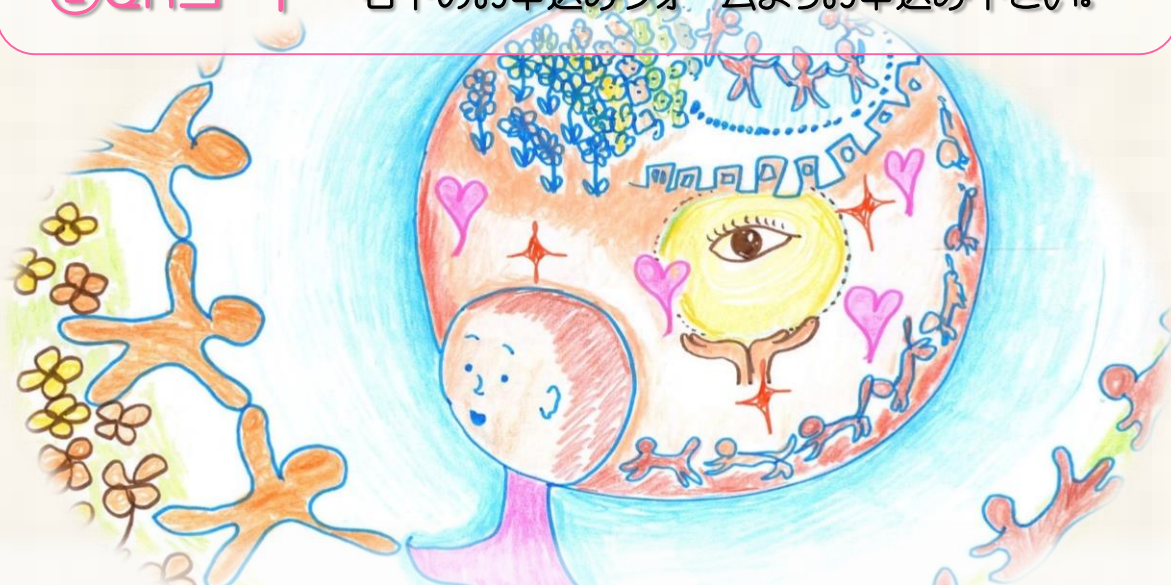
◆参加費 **500**円(小学生以上) 未就学児無料

◆定員 **100**名(満席になり次第募集終了いたします *前回満席御礼)

お申込み方法

①FAX 裏面の送付欄に必要事項をご記入の上お送りください。

②QRコード 右下のお申込みフォームよりお申込み下さい。



前回のワーク型に続き、第2回目は「セラピー型」講演会として『発達障害』をテーマに開催を致します。市民の皆様からご要望の多かった『発達障害』について、私たちは「障害」でもなく「個性」でもなく、ひとつの『傾向』と捉えます。

大事なのは「診断を受ける・受けない」に関わらず、ひとりひとりの『傾向』を受け入れ、個々の「生き方」に向き合うことなのです。

今回も医師、薬剤師、スクールカウンセラー、それぞれの立場で多方面から提案させて頂きます。当事者の方だけでなく、サポーターの方にもぜひご参加頂きたい講演会です。

主催：ぐんまHolistic Health College

後援：太田市/太田市教育委員会

お問合せ：ぐんまHHC事務局(サヤカ・クリニック内)

Tel:027-226-5571

(月・火・木・金 9:00～12:00 14:00～17:00)

事務局長 三田(090-7407-7680)

お申込
フォーム



～講演会内容～
『発達障害という傾向』

当日スケジュール

- 12:30 受付開始
13:00 開演
- 13:10 佐伯幸子 (スクールカウンセラー)
「生きづらさを受け入れる
為に～教育の現場から～」
- 13:45 関根沙耶花 (医師)
「発達障害は『傾向』である」

【10分休憩】
- 14:25 中村明日香 (薬剤師)
セラピーワーク
「今日から出来る
ホームケアセラピー」
- 15:00 終演予定
- * 15:30頃まで交流



講演者プロフィール

関根 沙耶花 せきね さやか
(ぐんまHHC代表 医師 サカヤ・クリニック院長)

小さい頃から薬草に興味を持ち、高校生の時に医者となることを決意。自治医科大学地域医療学で、総合医の研修を積む。10年間病院勤務を続ける中で、現代医療の「対症療法」に限界を覚える。バイオレゾナンス医学、東洋医学、植物療法を学び、実践する中で、「人は治るようになっていく。」と気づく。2014年病院勤務に終止符を打ち、地元群馬で「サカヤ・クリニック」を開業。今春「真の健康づくり」を学ぶための学校として「ぐんまHHC(Holistic Health College)」を設立。総合診療医として、身体、心、魂の全人的ケアに力を注いでいる。



中村 明日香 なかむら あすか
(薬剤師・自然療法セラピスト)

20代に自ら摂食障害を経験したことで、症状と心の関係に興味を持つ。薬剤師の道に進み業務に専念しながらも「心と身体を切り離して考える」現代医学に疑問を感じ始める。結婚後、第2子に過度のアトピーと重度の食物アレルギーを発症。治療に向き合う中で新薬のみの治療に限界を感じ、自然療法を学ぶ。現在は現役薬剤師でありながら、自然療法専門家としてHolistic salon「Lapis」を運営。「健康は家庭から」をモットーに、「なるべくお薬を使わずに健康になる秘訣」を地域の皆様に提唱している。



佐伯 幸子 さえき さちこ
(スクールカウンセラー パARENTトレンナー)

平成15年より太田市内の小学校で「悩み事相談員」として生きづらさを抱えた子供達に関わり始めたことをきっかけに、子育てコーチング、教育コーチングのスキルを学ぶ。その後、主任児童員として、子育て中のママたちの支援や、小・中学校の訪問を行い、地域の児童や生徒の成長を見守りながら、対人支援に力を注ぎ始める。現在、群馬県内でスクールカウンセラーとして子供達や保護者、教師などの相談を受けている。今後は生きづらさを抱えた親子達の円滑なコミュニケーションの為に支援も視野にいれ、活動をしていく。



お申込み FAX (027-212-8382)

お名前
ご住所
Tel.
メールアドレス(任意)
備考欄 (お子様づれの方は 人数と学年を記載ください)